

SCREEN

Fit your needs, Fit your future

期待に添えて、未来を形に...



大日本スクリーン製造株式会社

〒602-8585 京都市上京区堀川通寺之内上る4丁目 www.screen.co.jp

muratec

豊かな未来を実現する
ムラテック

新しい価値の創造とモノづくりへの

真摯な姿勢を貫き、
お客さまに喜ばれる製品の提供を通じて、
豊かな社会の実現をめざします。

- ロジスティクスシステム
- ファクトリーオートメーション
- 半導体・液晶工場FAシステム
- 工作機械
- シートメタル加工機
- 繊維機械
- ファクシミリ/デジタル複合機

村田機械株式会社

本社/京都市伏見区竹田向代町136 〒612-8686
TEL 075 (672) 8111 (ダイヤルイン番号案内)

http://www.muratec.co.jp



繊維機械



工作機械



クリーンルーム内FAシステム



FA&ロジスティクスシステム



情報通信機器

たとえば、ムラテックの製品はこんなところで活躍しています。

エレクトロニクス最前線

京都から次代切り開く

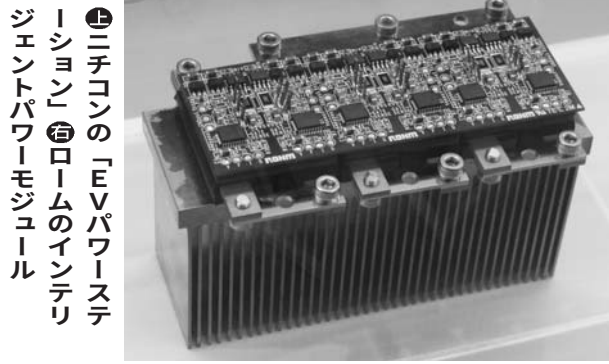
京都の主力産業でもある電子部品。各方面から注目を集める環境エネルギー、景気の先導役となつていくモバイル、成長が期待される医療・ヘルスケア。これら完成品になくはならない最重要サプライヤーが数多く集積する。10月初めに開かれたエレクトロニクス総合展「シーテックジャパン2012」には各社が出展。披露された開発中の先端技術や次世代デバイスから、完成品の進化の一端を先取りすることができそう。

くらし変える技続々
各社、省エネ性能など競う

【エネルギー】
ニチコンは今年、世界初のV2H（ビークル・ツー・ホーム）システム「EVパワーステーション」の出荷を始めた。電気自動車（EV）搭載の電池を家庭用電源として使うための変換機能を持つ充電器。クルマに走る以外の機能を付加し提案する意欲的な商品だ。シーテックでは家庭用蓄電システム「ホーム・パワー・ステーション」とともに展示品表彰（アワード）のプロダクト＆サービス部門準グランプリを受賞した。

京セラは、ニチコン製家庭用蓄電システムと自社の太陽電池を組み合わせた省エネルギー制御するHEMS（ホームエネルギーマネジメントシステム）の提案に乗り出した。同社のシステムにはオムロン製のパワーコンディショナーも一部採用されている。また京セラは、太陽電池やLED（発光ダイオード）照明、電力量計などセットで店舗向けに使うための変換機能を持つ充電器。クルマに走る以外の機能を付加し提案する意欲的な商品だ。シーテックでは家庭用蓄電システム「ホーム・パワー・ステーション」とともに展示品表彰（アワード）のプロダクト＆サービス部門準グランプリを受賞した。

環境エネルギー企業のイノベーションを狙い、新ブランド「シンキング・エナジー」も導入した。ローンは燃料電池ベンチャーのアクアエナジー（京都市西京区）と共同で、来年発売予定の携帯型燃料電池を展示。その場で安全に水素を発生する小型燃料電池を小型発電機に装着するだけで、モバイル機器などの



ニチコンの「EVパワーステーション」@ロームのインテリジェントパワーモジュール

使いやすいさ追求し進化

医療・ヘルスケア

モバイル機器を除くデジタル家電が不振の中、各社は医療・ヘルスケア市場に成長を期待する。オムロンヘルスケアは、情報通信（IT）技術と連携した健康管理サービス「ウェルネスリンク」の拡充に取り組む。

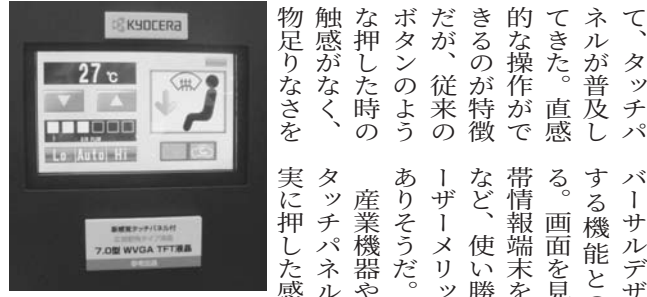
タッチパネル

スマートフォンの多機能化が普及してきた。直感的な操作ができるのが特徴だが、従来のボタンのような押しやすさ、物足りなさを

訴える声も多い。京セラは、振動で疑似的な触感を得る「触覚伝達技術」を搭載したタッチパネルの開発に注力する。パネルに内蔵した圧電素子で押し圧を検知するとともに、素子の振動により、さまざまな種類の触感を再現する。ユニバーサルデザインを実現する機能との見方もある。画面を見なくても携帯情報端末を操作できるなど、使い勝手次第でユーザーメリットも大いにありそう。

産業機器や自動車でのタッチパネル採用には確実に押し上げた感覚のフィードバックも不可欠とされる。早く提案し、早期の実用化を目指す。

【医療・ヘルスケア】
オムロンヘルスケアの健康管理サービス「ウェルネスリンク」の展示@京セラの触覚伝達技術搭載タッチパネル



オムロンヘルスケアの健康管理サービス「ウェルネスリンク」の展示@京セラの触覚伝達技術搭載タッチパネル

リポート
シーテックジャパン
2012

信頼と実績を

積み重ねて

20万台。

今まで物流現場の課題にどれだけ応えてこれたか？ 私たち、ニチユは常に考え続けてきました。その答えは「フラッター」の累計出荷台数20万台にありました。

1958年(昭和33年)、私たちニチユが世に送り出したリーチ型バッテリーフォークリフト「フラッター」。その最小旋回半径1330ミリというコンパクトさは、物流業界に革新をもたらすフォークリフトと評されました。以降、バッテリーフォークリフトの代名詞として、多くのお客さまの声や時代のニーズに添えて進化を続けてきました。誕生より54年目となる今年、その愛顧と信頼に添えて、私たちニチユと「フラッター」は、これからもコスト削減や環境問題といった物流現場の課題解決に取り組ま続けます。

